

議会だより

2018年11月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会運営委員会編集



9月定例会

第3回定例会は、9月4日から開会され、町長から提案のあった補正予算など14議案を、いずれも原案どおり可決し、10日に平成29年度各会計決算審査、12日に一般質問等を行って閉会しました。

会計名	補正額	総額
一般会計(第4号)	300万円	46億1千21万円
一般会計(第5号)	1億341万円	47億1千362万円
国民健康保険特別会計(第2号)	487万円	5億7千997万円
介護保険特別会計(第1号)	814万円	3億8千837万円
医療施設特別会計(第1号)	93万円	1億2千662万円
簡易水道特別会計(第1号)	435万円	2億9千617万円
公共下水道特別会計(第1号)	240万円	2億6千861万円



補正予算の主なもの

◆ジユエリーアイヌ観光
振興事業 956万円

大津海岸のジユエリーアイヌ観光振興費。駐車場の整備に547万円、案内看板・トイレ等の設置に140万円、写真集・オリジナル切手シートの購入等を行う観光協会への補助に269万円

◆定住促進等住宅取得
補助 116万円

住宅の新築・中古住宅の購入者への補助費を対象件数の増加により追加補正

◆畑作構造転換事業
補助金 2千225万円

省力化につながる農業用機械を導入する組織への補助

◆豊頃町歯科診療所
備品購入 81万円

内視鏡用ビデオカメラの購入

◆大雨による町道災害
復旧費 300万円

7月初めの大雨被害に伴う災害復旧費(一般会計補正第4号・専決処分)

◆町道維持補修工事
1千680万円

町道3路線の維持補修費用を追加

※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。
※専決処分とは、議会を開く時間的余裕がないときなど、議会にかわって町長が処分(決定)すること。



平成29年度

決算を審査認定

各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度繰越額	実質収支額
一般会計	5,214,319,460	5,117,244,893	97,074,567	4,901,000	92,173,567
国民健康保険特別会計	645,789,724	591,440,727	54,348,997	0	54,348,997
介護保険特別会計	375,653,495	353,651,672	22,001,823	0	22,001,823
後期高齢者医療特別会計	58,397,482	58,255,427	142,055	0	142,055
医療施設特別会計	98,868,904	98,692,366	176,538	0	176,538
簡易水道特別会計	239,957,193	233,492,846	6,464,347	0	6,464,347
公共下水道特別会計	267,699,241	265,507,214	2,192,027	0	2,192,027

平成29年度一般会計ほか6特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書とともに議会に提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定することに決定しました。各会計の決算額は、上記のとおりです。

広報とよこ

▽平成29年度決算を審査認定ほか
議会だより

役場だより

主な審議内容

平成30年度補正予算

Q 穴崎英樹議員 ジュエリーアイス観光振興事業について、駐車場整備により駐車台数はどのくらい増えるのか。

A 約40台分の駐車が可能と考えている。その他、民有地を借りて駐車場を用意するなど観光客受け入れへの対策を図りたい。



ジュエリーアイス観光客への駐車場

Q 穴崎英樹議員 舗装工事について、工事の数が多すぎて施工業者の手が回らないと聞くが。

A 今年度の工事においてそのような話は聞いていないが、

現状把握を行った上で対応していきたい。

Q 小笠原茂人議員 歯科診療所に購入する備品は、新規に導入するものか。

A これまでは医師個人の家庭用ビデオカメラを使っていたが、画質が粗いなど不十分なことから導入する。

平成29年度決算

Q 穴崎英樹議員 基金残高は、決算時点において、約47億9千万円であるが、積立て額の目標は。

A 教育施設、消防施設、公共団体の施設の建替えを見ずして基金を積み立てている。金額を示すことは難しいが、少なくともこれらの事業を実施した上で、さらに普通交付税の収入額程度（平成29年度の普通交付税は、約21億3千万円）は確保する必要があると考えている。

Q 穴崎英樹議員 災害対策や運動・スポーツ振興に特化した基金を新設しては。

A 災害対策については、北海道市町村備荒資金組合への積立てを道内各自治体とともに

ている。運動・スポーツ振興について、現状の教育振興基金により対応していきたい。

Q 岩井明議員 国民健康保険税の徴収において、給与の差し押さえを実施しているが、法令に基づき、生活に影響ない部分に限った差し押さえを実施しているか。

A 納税相談等を行ったのち、一定以上の収入がありながら納付されない場合に、法令等の基準により可能な範囲において差し押さえを実施している。

Q 大谷友則議員 町立医院、歯科診療所の診療報酬収入が、平成28年度と比べて減額となっているが、その理由は。

A 町立医院の診療報酬収入が平成28年度の約9割となっている。理由は、町の人口や全体医療費の減少、健康診断の受診勧奨等によるものと考えている。なお、医師の交代があつたが、患者の評価は様々であり、必ずしもそれが理由ではないと考えている。



一般質問



岩井 明 議員

教員の勤務実態は

Q 教員の働き方改革への取り組みは。

A 山本教育長
教育委員会では、国、道のガイドラインを参考に、「豊頃町立学校における教職員の働き方改革推進プラン」を策定し、平成32年度末までに1週間当たりの勤務時間が60時間を超えないことを目指している。

A 山本教育長

出勤簿により勤務実態の把握を行っている。勤務時間は、管理職の現認となっている。今後は、十勝教育局が試作中の出勤管理システムやタイムカードの導入を検討していきたい。



豊頃小学校の様子

Q スクールカウンセラーの配置への対応は。

A 山本教育長
スクールカウンセラーは、配置していない。児童生徒の悩み相談等は、担任教員、校長、教頭により対応しているが、必要となる事案が発生すれば十勝教育局と協議していきたい。

Q 教員が部活動の顧問を担っていることが多いが、今後の対応は。

A 山本教育長
本町では、部活動指導員として、バトミントンと剣道にそれぞれ1

人指導をお願いしている。可能な限り導入を進めたいが、仕事をされている方がほとんどの中、恒常的に部活動を指導できる人を見つけていくことは厳しいと考えている。

Q 教員が産育休や病休、介護等のために休暇をとるときの代替教員等の対応は。

A 山本教育長
町内では、2人の教員が育児休暇中であるが、それぞれ臨時教員の配置を受けて対応している。一方、十勝管内では、4人の代替教員の欠員が生じている。十勝教育局と十分協議し、健全な学校体制が維持できるよう努力していきたい。

・スクールカウンセラーとは、子どもの臨床心理に関する専門知識及び経験を有し、学校に配置され、子ども・教員・保護者へのカウンセリングやアドバイスを通して心の悩みやいじめ・不登校等の未然防止、早期発見を図る人。
・部活動指導員とは、部活動の指導の充実と教員の負担軽減を図るため、中学校・高校において部活動への日常的な指導を行う者。

広報とよこる

議会だより

一般質問

役場だより



児童生徒の 読書活動の推進は



大谷 友則 議員

Q 読書活動の推進をどのように取り組もうとしていくのか。

A 山本教育長

今年3月に「豊頃町子どもの読書活動推進計画」を策定し、その中では、各学校での朝読書や出前読み聞かせ会の推進、乳幼児健診時に本をプレゼントするブックスタート事業等を継続することともに、新たに文字を覚える時期である保育所年長児に本をプレゼントするセカンドブック事業の取組みを進めたい。

Q 学校の蔵書冊数が、国の基準に満たない学校があるが対策は。

A 山本教育長

図書館の蔵書図書の貸し出しにより補っている。図書購入予算は、教育予算全体のバランスをみて検討しており、引き続き予算編成の中で協議を進めたい。



大津小学校の図書室

Q 学校に司書教諭を配置する考えは。

A 山本教育長

法令により、11学級以下の学校には配置しないことができるため、配置に至っていないが、読書推進の観点から検討しなければならぬと考えている。

Q テレビやゲームを長時間することやスマートフォンの普及により、読書に向かわない子どもへの対策は。

A 山本教育長

子どもの読書週間の啓発やノーテレビデーの実施を通して、家庭生活習慣の見直しが進むよう取り組んでいきたい。

広報とよこ

▽一般質問
議会だより

役場だより

産業の担い手確保 育成対策は



小笠原茂人 議員

Q 建設・土木業では、人手不足により業務内容を見直す会社があるが、業界活性化への対策は。

A 宮口町長

建設・土木業のみならず、人手不足は、町の産業全体の課題である。町の事業の計画的な発注により、人手確保に役立つよう努力したい。しかし、町が発注する事業費が減少傾向にある現状では、他市町村の仕事を受注しなければ活性化しないのではと考えている。

Q 共同企業体による入札参加は可能か。

A 宮口町長

工事内容によって、そのような形は可能と考えている。

Q 毎年、年間通じて計画的に工事を発注するよう配慮を。



土木工事の様子

A 宮口町長
できるだけ配慮できるよう努力していきたい。

Q 商店街には後継者のいない店舗が多いが、対策は。

A 宮口町長

店を守る、町を守るこの考え方により、必要な支援をしていきたい。

Q 各店舗の経営は、自助努力による改善が難しいところまできていると考えている。今後も継続して営業できるように、抜本的な施策が必要と考えるが。

A 宮口町長

商工会との連携を密にししながら、各店舗が生き残れるよう支援していきたい。



大崎 英樹 議員

スポーツ・部活動招致への施設整備は

Q 茂岩高台のスポーツ施設の総合的な検証と整備の考えは。

A 宮口町長

野球場は、練習試合等で町外者が利用し、サッカー場は、昨年6千人を超える利用があった。合宿等での利用を伸ばすには、宿泊施設の利用がなければ難しいと考えている。なお、学校施設のあり方を考える「豊頃町学校校舎等建築検討委員会」の中でも、運動施設について検討いただいている。

Q 2020年東京オリンピックに向けて、全国では合宿の誘致合戦が行われている。施設整備により、利用の増加が期待できると考えるが。

A 宮口町長

学校施設の建て替えの問題と合わせて、豊頃小学校、豊頃中学校

の野球場として利用できるものを学校近くに整備し、茂岩高台の野球場は、サッカー場や運動広場に転換するなど様々な案を検討している。また、林業研修センターの取り壊しを検討するなど、茂岩高台全般の利用を総合的に見直していきたい。

Q テニスコートや、サッカー場をラグビーにも使用させるなど再整備の考えは。

A 宮口町長

教育委員会と協議を進めながら、総合的に判断したいと考えている。



茂岩山自然公園のスポーツ施設

誘致企業の現状と今後の動向は

Q 町が誘致した企業の現状は。

A 宮口町長

主な誘致企業であるアイシン精機は、平成4年に町内で事業を開始以来、関連企業の社員の定住や小学生へのものづくり講座の開催など、交流を深めている。

また、ユーラス豊頃太陽光は、町内で太陽光発電事業を展開し、本町に貢献いただいている。

両社の進出によって、安定した固定資産税収入が得られるなど本町にとって大切な企業である。

Q E-FOERCCの現状と今後の動向は。

A 宮口町長

厳しい状況下にあると聞いています。同社が製造するバイオ燃料は、町のスクールバスでも利用していますが、現在は停滞している。

Q E-FOERCCに対して可能な範囲で行政から指導を行う考えは。

A 宮口町長

行政が指導する考えはないが、前進するよう期待したい。

合同墓(塚)の設置は

Q 平成27年12月定例会の一般質問で同じ質問をしたが、その後の検討経過と設置の考えは。

A 宮口町長

十勝管内の状況を調査したところ、帯広市が設置済み、芽室町が計画、その他の町村は今後検討等となっている。

これまでに町民からの要望等はなく、宗教的な面などの問題もあり、大変難しい問題と認識している。なお、茂岩高台の墓地には、供養の碑という身元不明者を納める墓があり、町において毎年お参りをしている。

Q 合同墓(塚)設置に対する今後の考えは。

A 宮口町長

少子化、核家族化が進む中、墓の問題は避けて通れないと認識している。合同墓(塚)は、一旦埋葬すると出すことはできないことや、宗教の問題など多くの問題があり、他市町村の動向も参考にしながら、今後も検討していきたい。

委員会レポート

8月24日、産業厚生常任委員会（相澤昌幸委員長）は、「農作物の作況について」、豊頃町農業改良推進協議会の作況調査に同行し、調査を行いました。

調査当日は、町内の10圃場8作物について1圃場ごとの作物の草丈、着莢数などの生育状況や、病害虫の発生状況、農作業の進捗状況及び今後の注意事項などについて説明を受けた。

本年は、馬鈴薯の植付作業やてん菜の移植作業、豆類のは種作業は平年よりやや早く終了したが、6月中旬から7月中旬にかけての低温・多雨・日照不足により豆類に生育の停滞などの影響が出ている。



農作物作況調査の様子

調査時点での作物ごとの生育状況は、てん菜は、病害の発生は少なく、根部の肥大も順調に進んでおり平年以上の収量が見込まれる。馬鈴薯は、6月から7月上旬の降雨により茎長が軟弱徒長し、一部ほ場では倒伏が見られるものの、芋の肥大は順調で平年並の収量が期待される。豆類は、は種作業は平年よりやや早く終了したが、6月中旬の低温により生育が遅れ、茎長が短く莢数も平年を下回っており、収量の減少が予想される状況である。

牧草は、一番草は、長雨により収穫作業が遅れたものの収量は平年よりやや多かつたが、二番草は、追肥作業の遅れと少雨の影響により生育がやや緩慢である。デントコーンは、草丈が平年より短く、収穫量の減少が懸念される。

なお、現地調査は行わなかったが、すでに収穫作業の終了した秋まき小麦は、4月から5月にかけての適度な降雨と高温により平年並の収量となったが、6月の日照不足の影響により、品質は細麦傾向にあった。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、今後の台風等により作物への影響が懸念される場所もある。

また、今後においては、病害虫による被害、霜の降りる時期によつては豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。

全町的に中長期的な明・暗渠排水などの農地盤整備対策により、安定的な収量確保に向けた対策を講じることや、本格的な収穫期を迎えるに当たり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等を通して指導の徹底を求めるなどの意見が出された。

会議の詳細は会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

議会広報づくりを学ぶ

8月22日に、札幌市において議会広報研修会が開催され、議会だよりの編集を担当する議会運営委員会委員4名が参加しました。

全道から103町村、525名の議員や職員が出席し、広報コンサルタントの芳野政明氏を講師に迎え「住民に読まれ伝わる議会広報の基本と編集」と題し、事前に提出された10町の広報紙に対し、評価すべき点や改善すべき点を多くの実例を交えた説明があり、住民に伝えるから伝わる広報紙づくりを学びました。



北海道町村議会議長会主催広報研修会



意見書

- ① 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ② JR根室線の早期災害復旧と路線維持を求める意見書

①は産業厚生常任委員会にて審議のうえ常任委員会委員長である相澤昌幸議員から、②は小笠原茂人議員から提案説明され、いずれも原案のとおり可決し、関係省庁に提出されました。



提案説明する相澤昌幸議員（左）と小笠原茂人議員（右）

議会コラム

議会を傍聴するには？

議会は原則公開されていますので、誰でも傍聴することができます。傍聴する方は、本会議の当日に役場4階の議会事務局

前にある傍聴人受付簿に住所、氏名を記入するだけで傍聴席に入ることができます。また、より分かりやすく傍聴できるよう議案書等の資料の貸し出しを行っております。なお、部数に限りがあるため、先着順となります。

広報とよころ

議会だより

▼意見書▼議会日誌

役場だより

滑川市議会議員・相馬市議会副議長来町

9月16日に、本町の姉妹都市である富山県滑川市から上田昌孝市長、原明議長、石坂稔産業民生部長、岡本修治議会事務局長が、福島県相馬市から佐藤憲男副市長、石橋浩人副議長、吉田絵里子企画政策部秘書課主査、三瓶望議会事務局主査が来町しました。



産業まつりに参加する上田市長、原議長(左から)、石橋副議長、佐藤副市長(右から)

当日は晴天に恵まれ、来町した皆様は、とよころ産業まつりに参加されたのち、本町議員と交流を深めました。

議会日誌

- 〔8月〕
 - 23日 町村議会広報研修会（札幌市）
 - 22日 十勝町村議会議長会議長研修会（大樹町）
 - 24日 産業厚生常任委員会（農作物状況調査）
 - 27日 比布町議会行政視察来町
 - 29日 議会運営委員会
 - 〔9月〕
 - 4日 第3回定例会（1日目）（補正予算、その他）
 - 10日 総務文教常任委員会
 - 12日 産業厚生常任委員会
 - 16日 第3回定例会（2日目）（平成29年度決算認定）
 - 12日 第3回定例会（3日目）（一般質問、意見書、その他）
 - 16日 滑川市議会議長、相馬市議会副議長来町
 - 24日 総務文教常任委員会（所管事務調査）
 - 26日 札幌豊頃会（札幌市）
 - ◎今後の予定
 - 〔11月〕
 - 6日 十勝町村議会議長会主催議員研修会（芽室町）
 - 10日 東京豊頃会（東京都）
 - 21日 全国議長大会（東京都）
 - 22日 産業厚生常任委員会（所管事務調査）
 - 30日 議会運営委員会
 - 〔12月〕
 - 5日 第4回定例会（1日目）（補正予算、その他）
 - 12日 第4回定例会（2日目）（一般質問ほか）
- ※日程は変更になる場合があります。